



指導ポイント&ヒント

9課 10と1で11

【内容】 19までの数の構成 / 20の意味と唱え方

【表現】 [] と [] で [] です。

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 基準となる「1」が10個集まると「位」が1つ上がるという「十進位取り記数法」の基礎を学ぶ単元です。ただ、低学年には「十進法」の原理を理解させるのは無理ですので、イラストのように「じゅう」になったら「1」と「0」で書き表すということを教えるだけで十分です。
- ・ ふつう、リズムカルに「じゅういち」「じゅうに」「じゅうさん」と唱えさせていくことで大体の子どもは十進法の仕組みに慣れていきます。
- ・ それでも「理屈」が必要な子どもには、イラストのように「10」のカードの一の位の部分に「1」「2」「3」のカードを上から重ねていくとよいでしょう。
- ・ 似た表現に「1と6では7です。」がありますが、この言い方をする場面というのは、「1と3で4。1と5で6。じゃあ、1と6ではいくつですか。」のように、いくつかある中から「この場合はどうなりますか」と取り立てている場面ですから、日本語に慣れていない段階では混乱しますので、「～で」と「～では」の混用は避けましょう。
- ・ また、「1と6は7」という言い方もよく使われます。これは「1と6を足した結果」は「7です。」を簡略化した言い方です。これは「僕は3塁。」という言い方に似ています。「僕が守るベースは3塁だ。」の意味を簡略化したもので、決して「僕＝3塁」ではありません。しかし、このような簡略化した言い方は、日本語に慣れていない人々を苦しめるので注意が必要です。混乱をきたすような言い方はこの場面では用いない方が得策です。
- ・ 英語には「いくつ」「何個」「何人」など数を尋ねる疑問詞はHOW MANYしかありません。

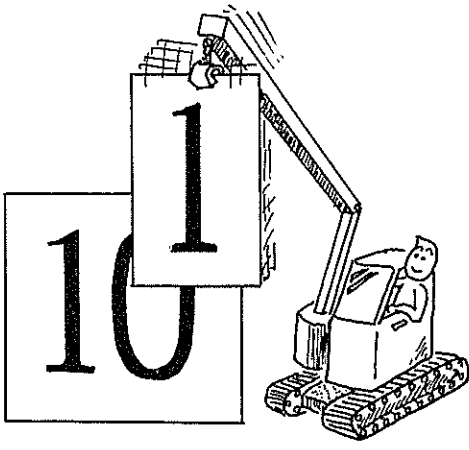
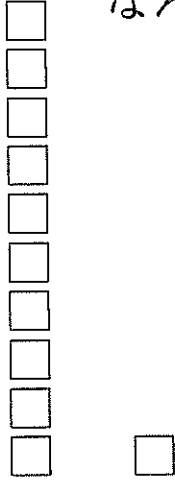


9 10と1で11

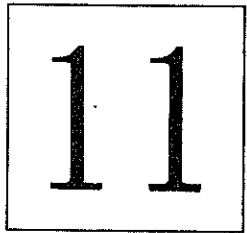
19までの数の構成

1

なんこですか。



じゅういち



10と1

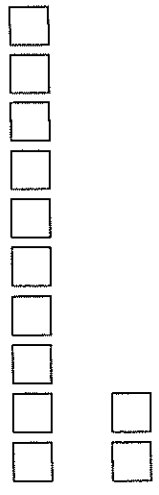
10と1で11。11こです。



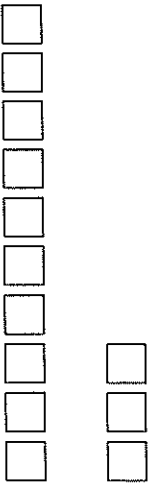
2

なんこですか。⇒ と で 。 です。

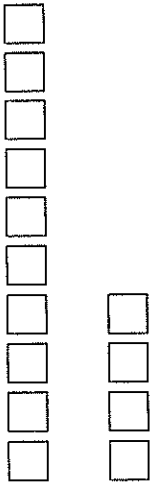
①



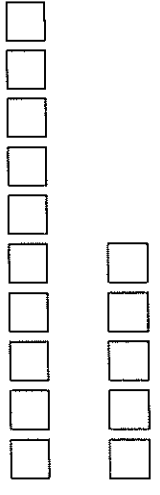
②



③



④

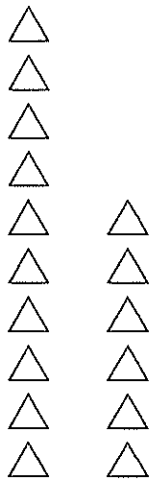


↑ かずをかきましょう。 ↑

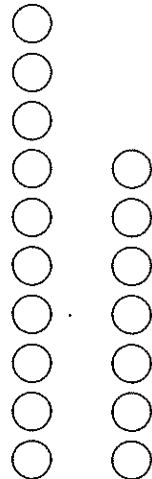
3

なんこですか。

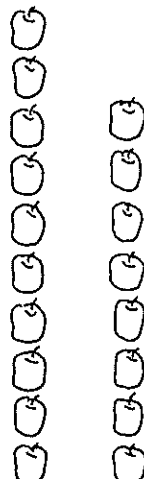
①



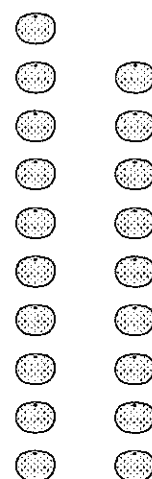
②



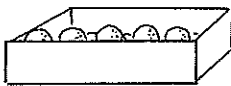
③



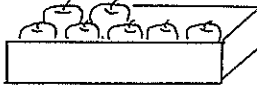
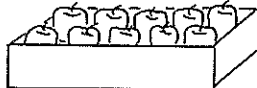
④



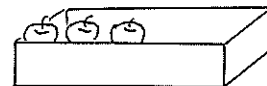
⑤



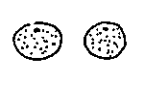
⑥



⑦



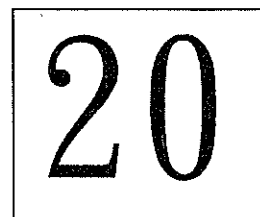
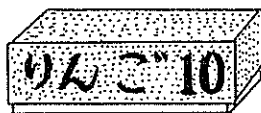
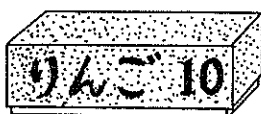
⑧



20の意味と唱え方

4

10と10で20。



にじゅう